

第2回香川県がん診療連携協議会地域連携パス専門部会（胃がん）会議メモ

1 日 時 平成22年11月9日（火） 19:00～20:00

2 場 所 香川大学医学部管理棟5階小会議室（502号室）

3 出席者 香川大学医学部附属病院消化器外科講師 萩池 昌信
オブザーバー

香川県立中央病院外科部長 青江 基

香川県健康福祉部医務国保課副主幹 佐々木 秀朗

香川大学医学部附属病院中核病院機能強化支援室長 松岡 實夫

4 概 要

地域連携・パス部会長である香川県立中央病院の青江先生が議長となり、意見交換をした。

（1）香川県版がん診療地域連携パスの医師向けパンフレット、患者向けパンフレット、地域連携パス適応についての承諾書、私のカルテ、など現在まで書式が決まった、癌腫共通の書類についての説明が、青江議長よりあった。

（2）引き続き、胃がんにおける地域連携パスの原案が示され、説明があった。

（3）癌腫間でのパスの差異をなくすため、前回の胃がん専門部会での決定事項から変更となった点の説明があった。

①計画策定病院（基幹病院）でのフォロー間隔が、術後3年まで3ヶ月ごと、3年から5年まで半年ごとである点（昨年のお申し合わせでは、半年ごとの基幹病院受診）

②胃がん地域連携パス原案において、専門部会委員に検討して頂きたい箇所

○パスの適応基準

○患者紹介基準

○検査項目

○自己チェックシートの項目

（4）11月19日に地域連携パス部会が招集され、各癌腫の地域連携パスが最終的にチェックされ、ホームページ上に一般公開される旨、説明があった。

胃がんの地域連携パスもそれに間に合わせるため、11月15日までに専門部会としての最終稿を仕上げるので、各委員より（3）に関する意見をメールで、聴取することとした。

以上